



法縁各位におかれまして当山の護持運営に格段のご厚情を賜り心より御礼申し上げます。さて、震災より三年半が経過し、当山は破損した伽藍修繕も済み、取りあえずは安心して法要を営める環境が整っております。塩釜市内を見ますと町の復

興という面では先行きが不透明な感は否めぬものがありますが、このような時節だからこそ檀信徒各位には極力ご負担をお掛けせぬような寺の運営を考えております。駐車場の増設や境内墓地の樹木の整理など、一部の檀家さんから頂く課題はありますが、通常の会計の中で実施出来るよう徐々に取り組んで参りますので何卒ご了承頂きますようお願い申し上げます。

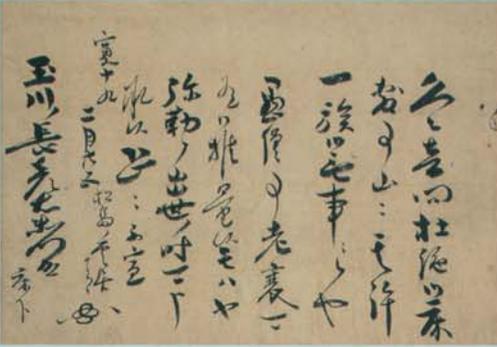
さて、今回は趣向を変えてトップの記事にて当山所蔵の墨跡を紹介したいと思います。こちらは瑞巖寺中興開山雲居希膺禪師が、玉川の長、彦右衛門さんという人に宛てた手紙です。

久しく面会がかなわぬ彦右衛門殿と一族の無事を伺い、雲居禪師自身が「年老いたので今度お会い出来るのは弥勒仏が出世される折であろう」とおっしゃっています。ご存じの通り、弥勒仏とは未来の仏。弥勒菩薩と呼んだ場合には未だ修行中である弥勒のことを意味します。弥勒仏の出世とはお釈迦様の預言から56億7千万年後。弥勒仏がこの世に現れ行う法会（ほうえ）を、龍華（りゅうげ）の三会（さんえ）と言います。とにかく気が遠くなるほど遙か未来の出来事です。

何年も生まれ変わり、精進努力を続け功徳を積んだ人だけが弥勒の法会に参じる事が出来るという信仰が存在します。雲居禪師は後述の通りこの手紙を書いた時には押しも押されぬ妙心寺派を代表する禅僧で、確固たる信念をお持ちだったに相違ありませんが、旧知の彦左衛門殿に「これからも精進して共に参じましょう」と呼びかけておられるのです。なんとも謙虚な禅師のお人柄を感ぜられるではありませんか！

寛十九は寛永十九年のことで、雲居禪師六十一歳。禪師の年譜を拝するに、この年は金華山に赴き、翌年は妙心寺再住の拝請を受け、悟溪禪師という妙心寺歴代任職の中でも特に大切な方の塔（墓）を守る寺である瑞龍寺の復興を依頼されたりで「愚僧事老衰」という割には活動的な時期なのです。

それにしてもこの「弥勒の出世」あるいは「弥勒の法会」という言い回し、何とも魅力的に思います。あるかどうか分からぬ来世など！と言いますまい、死んだら終わりという価値観も甚だ浅薄ではありませんか！さあ皆さん、弥勒の法会で再会出来ますよう精進致しましょう。



雲居禪師消息(玉川ノ長彦右衛門宛)

久々音問杜絶御床
敷事山々其許
一族御無事二候ヤ
愚僧事老衰可
有御推量候モハヤ
弥勒ノ出世ノ時可申
承候恐々不宣
寛十九
二月廿五 松島ノ雲居(花押)
玉川ノ長彦右衛門殿
希膺

床下

米国臨濟寺開山 杏山承周老師の津送

米国臨濟寺開山杏山承周老師の津送（一般で言う葬儀）に参列して参りました。老師は臨濟禪の布教の為に52年の間、特段の日本からの援助を受けることなく、独自の工夫と努力で弟子や信者を鍛え接化されて来ました。小柄は小柄の祖父と老師が従兄弟であることからご縁を頂戴し、今回の津送もお手伝いさせて頂いたのであります。



練習の日の前日法要が行われた繰り返し

ロサンゼルス現地時間8月26日、老師の教導を受けた雲水や信者で溢れるロサンゼルス・シマロンの臨濟寺。臨濟寺は言うまでも無く承周老師開山の寺です。今年、満107歳となられた老師の弟子達だけに老僧も少なくありません。法要の後、香を手向ける参列者の表情に接すると如何に老師が信仰され、愛されていたのが実感出来ました。日本からは乗炬導師をお勤め

になられた妙心寺山内靈雲院の曇華室老師、松島瑞巖寺起雲軒老師、札幌瑞龍寺起龍軒老師を始め法縁深い寺院方が参列、それぞれ法要の役を担って、米国の僧侶と共に津送が厳かに執行されました。米国臨濟寺にとっては初めての本格的な津送ということもあり、米国の僧侶にとつては戸惑うことも多かったと思いますが、老師の為になるべく日本に近い形式で法要を営みたいという熱意には非常に感銘を受けました。津送は無事に厳修出来たものの大切なのはこれから。風呂敷包み一つで渡米した老師が遺されたもの、これを如何に



当夜(通夜)札幌瑞龍寺起龍軒老師と弟子の代表達



弟子達が育てて行くかが何よりも大事です。

老師の弟子達が今回深まった日本との法縁も活かしつつ、法灯の護持に努められる事を願います。



津送当日 導師の入堂を待つ



法事では雅楽が献ぜられた



津送前夜に老師を偲ぶ

○積子塔しゃくしとう〜永代供養

積子塔

積子（しゃくし）とはお釈迦様の弟子という意味です。積子塔は先祖代々という家族単位の供養のあり方を超えて、同じ仏教徒としての供養のあり方を提案するものです。「私には子供がいない」「家は娘ばかりでみんな嫁に行ってしまった」「墓を守る人がいない。」など様々な理由で「墓地をもてない」「墓地をもたない」という方々の為のお墓です。墓地納骨冥加金は下記の通りです。

納骨供養料 十万円 檀信徒登録済

（年会費 五千元）の方

特徴

*歴代住職と共同墓地なので、家族が絶えても恒久的に誰かが墓参してくれる。

*維持費は基本的に不要。（故人に配偶者が居られる場合は、配偶者存命の間のみ年間五千元の維持費を頂きます。）

*墓地を取得し、墓石を建立する費用がかからない。

○墓地ばいむをご覧ください

いつでもご自由に見学して頂けます。通称稲荷下のグランドパレス横の小路を

お進み下さい。専用駐車場もございます。また、従来からの墓地にも空きがございます。こちらは新墓地よりも永代使用料がお安くなっています。

■現在の墓所に危険を感じられる方へ

東日本震災の経験を踏まえ、危険と思われる墓地の移動を推進しております。現在の場所に不安を感じている方で、境内墓地内への移転のご希望がございましたら、当山までお申し付けください。墓地使用冥加金減額致します。但し、移転費用は各自のご負担となります。

■使用者住所不明墓地の確認作業について

ただ今、境内墓地において使用者不明墓地にご確認の掲示を致しております。長年、お参りの無い墓地や維持会費未納の方が対象です。ご親族などの墓地にこのような立て札を見掛けた檀信徒におかれましては、是非そのご親族にお声掛け下さいますようお願い致します。

■危険樹木伐採

この秋より境内墓地内の特に危険と思われる樹木の伐採作業が行われます。墓参の方々の安全確保には十分に配慮申し上げますが、ご不便をお掛けすることもあろうかと存じます。何卒ご理解の程お願い申し上げます。なお、危険樹木及び、

行事報告

境内墓地内にて墓参を妨げている樹木などに関しては毎年処理を行う予定です。但し、大木も多く大変な費用が掛かる為、檀信徒の個々のご希望を伺うことは出来ませんので、併せてご了承願います。



8月14日新亡供養



8月12日精霊迎え法要



9月18日地藏流し



8月16日精霊送り法要

幼稚園 だより

塩釜中央幼稚園・塩釜第二中央幼稚園



運動会(第二)



サッカー教室(中央)



不動堂大祭(中央)



英語教室(第二)



夏祭り(第二)



参観日(中央)



楽しい給食(第二)



お茶のお稽古(第二)



書道教室(中央)



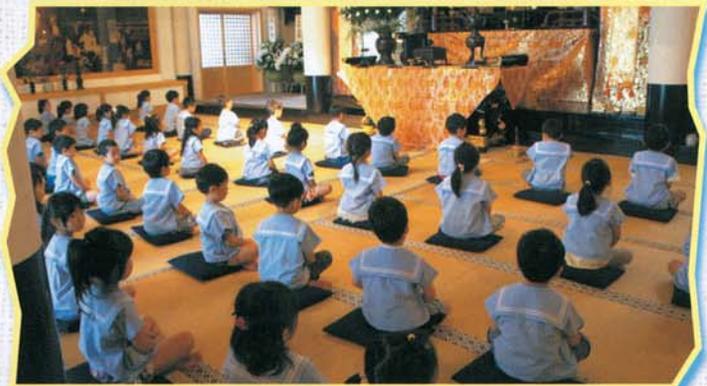
さつまいも畑観察(中央)



水泳教室(第二)



体育教室(第二)



坐禅(中央)

東北歴史博物館にて「東園寺所蔵書画展」が、本年12月13日より来年1月20日まで開催されます。展示作品は25点ほどではありますが、当山所蔵の書画を博物館という照明等が整った環境でご覧頂く貴重な機会です。また、これに併せて12月23日午後2時より、東園寺住職の講演会も行われます。年末年始のお忙しい時期とは存じますが、何卒ご来臨頂ければ幸甚と存じます。

東園寺所蔵書画展 多賀城市東北歴史博物館にて開催



東園寺 寺宝展

12月14日午前10時～午後5時

東園寺

寺コン6参加者募集!



11月下旬開催!

詳細は10月初旬にブログ「布袋の袋」で発表します。



THE ZEN CLUB K&B GYM

会員募集

東園寺研修センター内にあるスポーツクラブです。東園寺檀信徒は入会金が免除になります。

お問い合わせ

利府町加瀬字野中沢90-1
電話022-356-7071



坐禅会

毎週日曜日 朝7時

東園寺本堂地下教化センターにて



宗教法人 東園寺 〒985-0026 塩釜市旭町4-1
学校法人 東園寺学園 〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
代表役員 千坂成也 理事長 千坂秀也 花園会・会長 津田武彦

022(362)0777 寺務所
022(362)8651 中央幼稚園
022(365)5616 第二中央幼稚園
022(364)4444 寺FAX

東園寺ホームページ <http://www.toenji.com>

坐禅会法話会の情報はYahooブログ「布袋の袋」

